

藤勢寺便り

発行

時宗
熊野山藤勢寺
兼務住職
渋谷真之

疫病退散を願う法要会開催
明治三十五年建立された
遊行十代元患上人の石碑
登米市東和町米谷細野地区に於いて



元患上人法要 登米市米谷細野集会所

遊行元患上人由来記 (登米市米谷細野地区)

登米市米谷細野地区に神之木神社が祀られ、境内に「遊行十代他阿上人元患大和尚」と刻まれた石碑があります。部落方々は十代様を俗になまつて「ステサマ」と呼び厚く信仰しており、す。建立年は明治三十五年、この年は疫病が大流行し、死人が出る程猛威を振るい困窮し、少しでも苦しい生活より這い上がり豊かな生活に望みをかけ神仏の加護にと有志十名が世話人となり、世話人方は、藤勢寺に靈験あらたかな十代上人が



元患上人石碑の前にて

【元患上人と初代山形城主】
山形開祖、斯波兼頼公は、延年元年出羽国に入部し、翌年山形城を築いた。兼頼公は神佛尊崇の念厚く、入部早々山寺立石寺根本中堂の再建を行うなど寺社の復興に尽力した。ことに他阿元患上人の布教に感動し其

祀られていることを聞き、疫病退散を祈願し建立されたと先人達により云い伝えられてきた。当時は藤勢寺四十九世辯恵和尚の時代で現在は十一月にお祭りを開催している。

回数	年	逝去
1	令和4年	逝去
2	令和3年	逝去
3	令和2年	逝去
4	平成28年	逝去
5	平成22年	逝去
6	平成18年	逝去
7	平成12年	逝去
8	平成10年	逝去
9	平成8年	逝去
10	平成2年	逝去
11	昭和61年	逝去
12	昭和55年	逝去
13	昭和51年	逝去
14	昭和48年	逝去
15	大正12年	逝去



斯波兼頼坐像と元患上人位牌

阿の法名をうけて時衆となり、城内に時宗道場をたて、多くの土庶とともに念仏三昧の余生を送り、光明寺を開山した。